

リハビリ通信

言語聴覚士(ST)ってどんな仕事？



突然ですが

リハビリテーションといえば、どんなものを思い浮かべますか？



そりゃあ、歩いたり、手足の運動をしたりすることじゃろ？

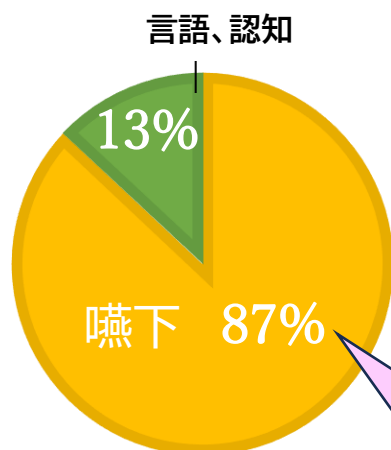


大正解です！しかしそれは理学療法士・作業療法士のイメージです。



リハビリテーションにはもうひとつ**言語聴覚士**(以下 ST)という職種があります。今回は少しでも ST の存在を知ってもらいたいのでご紹介しますね。

ST はスピーチセラピスト(speech therapist)の略で、ことば(言語)や聞こえ、飲み込み(嚥下)などのリハビリテーションを行っています。



リハビリ内容の割合
(2024年度)



当院では誤嚥性肺炎などによる飲み込み(嚥下)機能の低下の方を対象とすることが多く、嚥下に対するリハビリテーションの ST ニーズが高いです。



飲み込みのリハビリに ことばのリハビリ…
一体どんなことをするんじゃ？

裏面でリハビリの一部を
見てみましょう！



飲み込み「嚥下(えんげ)リハビリ」



① 低周波治療器の使用



② 頸部挙上訓練



③ 固形物からペースト状へ変更

飲み込みのための筋力をつけるために、①機械を使用したり ②実際に運動をし筋肉トレーニングをしたり、その方に合ったやり方で嚥下機能の向上を図っています。

③また、咀嚼しやすいものや喉の通りが良い食事形態に調整することも行っています。

舌がもつれて上手く話せない・声が出しにくい 「構音(こうおん)リハビリ」



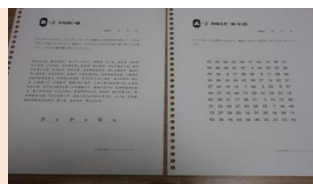
活舌練習として舌や口の体操の指導。
巻き笛を使用したり、胸郭ストレッチを行ったりすることで、声量アップや発声力アップを行っています。



物忘れや考える力が衰えてきた 「認知機能・高次脳機能リハビリ」



記憶力低下に対しては、その方にあった手段(メモやアラーム)を提案、そして慣れるまで一緒に練習をします。



クロスワードや
間違い探し、
計算、パズル等



思考力アップのリハビリ



なるほど！
STをよく
解ったぞ！

STのことは少しでも知って頂けたでしょうか？

入院だけではなく、当院では訪問リハビリも行っており地域でも活躍しております。

もしかしてSTが必要ではないか？と思われた場合は、
一度かかりつけ医や専門の相談員、言語聴覚士にご相談ください。

